



則武っ子

自律（自分から）
共生（仲間とともに）
創造（自分らしく）



「こんなこと、やってみたいなあ！」という視点を ～10/28「則武学校」を前に～

校長 遠山 健二

今日は、後期始業式。令和5年度も早折り返し地点です。新一年生が入学し早6カ月、そして6年生がこの則武小学校で学ぶのも、あと6カ月となります。

今日の始業式で、私は子どもたちに対して、

「将来、こんなことをやりたいなあ。」

「将来、〇〇（職業）になりたいなあ。」

という願いをもてるといいね、という話をしました（左下は、その際の資料）。

小学生の段階で、自分の将来のビジョンを詳しく描くことは、正直言って難しいことです。しかしながら、中学校3年生（15歳になる学年）の夏休み明けには、中学校卒業後の自分の進路について話し合う懇談が始まるのが普通です。現6年生からすると、ちょうど3年後です。この時になって、くれぐれも自分の「成績」だけで進路を決めることのないように、というのが、中学校で長年勤めてきた私の思いです。安易に成績だけで選ぶと、得てして長続きしないものなのです。

進路選択の中で重要なのは、その子の頭の中でどれだけ「選択肢」があるか、なのだと思います。進路に関わる選択肢は、自分で増やす必要があります。

そのために、「まずは一つ、やってみたい仕事（職業）を思い描いてみる」ことをお勧めします。一つ興味をもつと、「やってみたい仕事（職業）」という視点で、自分の身の回りの物事を見るようになります。テレビドラマや映画を観ていても、その登場人物の仕事（職業）にも目を向けるようになります。その上で、ご家庭や学校等で仕事（職業）にかかわる話題を増やしていくと、興味の中が広がると同時に、特に興味のある仕事（職業）について、その「なり方」を調べるようになります。

こうしたニーズに応えようと、公立・学校の図書館には「マンガでわかるあこがれのお仕事」「なるにはBOOKS」といったシリーズが用意されています。子どもとやり取りする私たち大人も、何かしら進路に関わる情報をもっている必要が出てきますが、そうした際には、作家村上龍さんの『13歳のハローワーク』という著作が参考になります。

「〇〇になりたいなあ！」
「こんな仕事につきたいなあ！」
小学校そつぎようまでに
2～3つ、言えるようになるといいな。
→自分のやりたいことが
はっきりしてきます！！

小学校時代に、このような過程を経ておくことで、中学校での進路選択が充実したものになりますし、何より今この小学校生活も充実したものになるはずです。

10/28（土）には土曜授業として「則武学校」を開催します。地域の方々及び高校生から、仕事（職業）やそこに関わる、そこに向かう生き方等を学びます。ご家庭でも、こうしたキャリア教育にかかわって話題にさせていただけると幸いです。

《10月行事予定》 ※現在の予定ですので、変更になることもあります

日	曜	校 内 行 事
1	日	
2	月	短縮5、6h 教育実習開始4-2
3	火	クラブ4
4	水	短縮3h 就学時健診
5	木	なかJスクール
6	金	前期終業式③ 登下校学習⑤
7	土	秋季休業日(～11日)
8	日	
9	月	
10	火	閉庁日
11	水	閉庁日 遊具点検
12	木	短縮5h 後期始業式(給食有)
13	金	安全点検 放課後学びの部屋
14	土	
15	日	
16	月	短縮5、6h 教育実習開始1-3
17	火	
18	水	6年修学旅行
19	木	6年修学旅行
20	金	放課後学びの部屋 6年生10:00登校
21	土	
22	日	則武地区防災訓練
23	月	
24	火	学校運営協議会
25	水	認証式 委員会7(後期組織作り)
26	木	なかJ4 獣医さんによる命の授業(13:30～)体育館1～3年
27	金	心のアンケート配付 放課後学びの部屋
28	土	土曜授業③(半日) 則武学校(地域・高校生)
29	日	のりたけスポーツ体験会
30	月	普通日課5h 芸術鑑賞会
31	火	心のアンケート回収

